

令和8年度 運営に関する計画

大阪市立梅香中学校

令和8年5月15日

大阪市立梅香中学校 令和8(2026)年度運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

各種アンケートでは「学校に行くのが楽しい」「人の役に立ちたい」「自分にはよいところがある」と感じている生徒の肯定的割合が大阪市平均を上回り、学校教育のめざす生徒の育成ができている。しかし、SNSをはじめとした「いじめ」は少なからず発生しており、不登校生徒の在籍比率も14.2%(85名/593名)と、ふらっとルーム(不登校支援室)を開設し、不登校生徒が毎日登校でき学習する機会を提供しているが、すべての生徒が安全・安心した教育環境を整備するには今後も検討が必要である。

学力面においては、「授業が分かりやすい」という肯定的割合の増加に合わせて、この10年で大阪府や大阪市の平均に近づき、落ち着いて学習や運動等に取り組む姿がみられる一方で、自主的な家庭学習に取り組むことができていない等の課題がある。体力面においては、ようやくコロナ前の体力に回復することができ、部活動をはじめとする運動時間が確保することができ、意欲的に体育的行事に参加する姿が見られようになったが、自ら体力を高め、健康で生涯を通じた運動する習慣を身に着ける必要がある。

安全・安心な教育の推進と未来を切り拓く学力・体力の向上を支える教育環境の充実を推進するために、一人一台端末の持ち帰りもできるようになったが、生徒の将来を見据えた授業用端末を自ら使いこなすための授業展開が必要である。

同時に、教職員の働き方改革として、教育環境の改善を図りながら、長時間勤務の解消、教職員の育児参加がしやすく、学校がチームとして働きやすい職場環境づくりを行う。また、教職員と校区小学校や此花区役所との連携で、生徒や保護者の支援に積極的に取り組んでいく。

生徒が「夢」や「目標」を持てるような学校行事等の取組の創意工夫と様々な深い学びを通して、生徒一人ひとりの成就感や達成感、自尊感情を高め、「生きる力」を育む。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和8年度から令和11年度の学校評価アンケート(生徒用)「わたしは楽しく学校に通っている」において、肯定的に答える生徒の割合を90%以上とする。(令和7年度 89.3%、以下同じ)
- ② 令和8年度から令和11年度の年度末の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を、毎年、前年度より増加させる。(39.7%)
- ③ 令和8年度から令和11年度の年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、毎年、85%以上とする。(81.7%)
- ④ (学校独自の目標) 令和8年度から令和11年度の学校評価アンケート(生徒用)において、「友人と協力してまじめに掃除(校内美化活動)を行っている」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を、毎年、前年度より増加させる。(92.4%)

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ⑤ 令和11年度の学校評価アンケート（生徒用）において、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上とする。(87.7%)
- ⑥ 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和7年度より0.07ポイント向上させる。(男子0.93 女子0.99)
- ⑦（学校独自の目標）令和11年度の学校評価アンケート（生徒用）において、「授業はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を90%以上とする。(88.5%)
- ⑧ 中学生チャレンジテストにおける平均点の対市比を、1.0以上を目標とし、生徒の達成感や成就感、自尊感情を高める。

【学びを支える教育環境の充実】

- ⑨ 令和11年度の学校評価アンケート（生徒用）において、「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を80%以上とする。
- ⑩ 令和8年度から令和11年度の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を毎年90%以上とする。(87.5%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。(89.3%)
- ② 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(39.7%)
- ③ 年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。(81.7%)
- ④ (学校独自の目標) 令和8年度の学校評価アンケート(生徒用)において、「友人と協力してまじめに掃除(校内美化活動)を行っている」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。(92.4%)

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ⑤ 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。(87.7%)
- ⑥ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を男女ともに前年度より0.01ポイント向上させる。(男子0.93%, 女子0.99%)
- ⑦ (学校独自の目標) 年度末の学校評価アンケート(生徒用)において、「授業はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。(88.5%)
- ⑧ (学校独自の目標) 中学生チャレンジテストにおける平均点の対市比を1.0以上を目標とし、生徒の達成感や成就感、自尊感情を高める。

【学びを支える教育環境の充実】

- ⑨ 年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を50%以上とする。(37.5%)
- ⑩ 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上とする。(87.5%)

大阪市立梅香中学校 令和8(2026)年度運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準

A: 目標を上回って達成した

B: 目標どおりに達成した

C: 取り組んだが目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	進捗状況
【安全・安心な教育の推進】 ① 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。(89.3%) ② 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(39.7%) ③ 年度末の校内調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上とする。(81.7%) ④ (学校独自の目標) 年度末の学校評価アンケート(生徒用)「友人と協力してまじめに掃除(校内美化活動)を行っている」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を前年度より増加させる。(92.4%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容1【基本的な方向2 豊かな心の育成】	
・教科書を基本に、生き方に関する感性や自尊感情を養うとともに年間指導計画に基づき、人権に対する感性を養う。	道徳
【指標】 週1回の道徳授業とともに、週1回を目安での全校集会、学年集会を開催する。	生指部
取組内容2【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】	
・不登校の生徒に対しては、学年団を中心にその状況を適切に把握するとともに、不登校対策委員会を機能させ、担任や学年の教員がスクールサポートスタッフや学校元気アップコーディネーターや学校力UPコラボレーター、スクールカウンセラー等と連携し、より丁寧な対応を心がける。	生指 不登校
【指標】 年度末の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を前年度より増加させる。(39.7%)	1年 2年 3年
取組内容3【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】	
・慎重な生徒観察を軸に生徒指導に関する情報交換を密に行い、生徒状況の把握に努め、初期対応を逸しないよう心掛けるとともに「いじめについて考える日」「いのちについて考える日」や「いじめアンケート」の活用を図る。	人権

<p>【指標】 「いじめについて考える日」「いのちについて考える日」を5月に実施するとともに、生徒理解の取り組みとして、年度当初の生活指導研修や「いじめアンケート」の実施、年間2回の教育相談、<u>日々の心の天気の入力(可視化)</u>を実施し情報共有する。</p>	<p>生 指 部</p>
<p>取組内容4 【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p>	
<p>・日々の校内美化活動を通じて、自分の役割に責任を持つ心を育成する</p> <p>【指標】 毎日の清掃活動の実施および学期ごとの大清掃を実施する。年度末の学校評価アンケート（生徒用）において、「友人と協力してまじめに掃除（校内美化活動）を行っている」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を毎年、前年より増加させる。(92.4%)</p>	<p>健 康 教 育 部</p>

大阪市立梅香中学校 令和8(2026)年度運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準

A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	進捗 状況
<p>【未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>⑤ 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。(87.7%)</p> <p>⑥ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比の割合を男女ともに前年度より0.01ポイント向上させる。(男子0.93%, 女子0.99%)</p> <p>⑦ (学校独自の目標) 年度末の学校評価アンケート(生徒用)において、「授業はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。(88.5%)</p> <p>⑧ (学校独自の目標) 中学生チャレンジテストにおける平均点の対市比を、1.0以上を目標とし、生徒の達成感や成就感、自尊感情を高める。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況	
取組内容 5 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】		
<p>・不登校の生徒に対しては、学年団を中心にその状況を適切に把握するとともに、不登校対策委員会を機能させ、担任や学年の教員がスクールサポートスタッフや学校元気アップコーディネーターや学校力UPコラボレーター、スクールカウンセラー等と連携し、より丁寧な対応を心がける。</p>	国	
<p>【指標】新学習指導要領に基づいた研究授業を一人1回以上実施し、指導方法等について意見交換を行い、改善を図る。</p>	社	
	数	
	理	
	音	
	美	
	保体	
	技家	
	英	
取組内容 6 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】		
<p>授業において、重点的に持久力を向上させる内容を実施するとともに、体育的行事を充実させる。</p>	保	
<p>【指標】保健体育授業において、持久走を実施するとともに、令和8年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である20mシャトルラン（持久力）の平均の記録を、昨年度より0.02ポイント向上させる。（男子77.97 女子53.42）</p>	健	
	体	
	育	
取組内容 7 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】		
<p>インクルーシブ教育システムの充実と推進をはじめ、生徒一人ひとりの能力や特性に応じた指導等を充実させる。</p>	国	
<p>【指標】各学年各教科においては、ペア学習、グループ学習を実施し、特別支援においても、個別の教育支援計画を活用して長期休業期間やテスト前学習会等も実施する。</p>	社	
	数	
	理	
	美	
	保体	
	技家	
	英	
	特支	

大阪市立梅香中学校 令和8(2026)年度運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準

A：目標を上回って達成した

B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった

D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	進捗 状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>⑨ 年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を50%以上とする。（37.5%）</p> <p>⑩ 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上とする。（87.5%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容 8 【基本的な方向 6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】	
一人一台パソコンを利用して教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を図るため、生徒が長期記憶を獲得できるよう家庭学習を推進する。	I C T
	国
	社
	数
【指標】 年度目標アンケートにおける「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を50%以上とする。（37.5%）	理
	英
	特 支
・不登校の生徒に対しては、学年団を中心にその状況を適切に把握するとともに、不登校対策委員会を機能させ、担任や学年の教員がスクールサポートスタッフや学校元気アップコーディネーターや学校力UPコラボレーター、スクールカウンセラー等と連携し、より丁寧な対応を心がける。	
働き方改革のさらなる推進を図り、教職員が働きやすい環境を整備する。	管 理 職
【指標】 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上とする。（87.5%）	